

神崎市では、城原川ダム建設に伴い、「神崎市水源地域振興計画」の検討を進めております。この計画に、皆さんの意見を反映させるため、これまで2回の住民ワークショップを開催しました。

たくさんの方にご参加いただき、神崎市の魅力や課題、将来像について多くのご意見をいただきました。皆様のご意見やワークショップの様子をお知らせします。

第

1

号

## 神崎市水源地域振興対策検討

# 住民ワークショップ

## ニュースレター



< 神崎市水源地域振興対策検討委員会 事務局 >

神崎市 産業建設部 ダム対策課 ダム対策係

〒842-8601 佐賀県神崎市神崎町神崎410番地

TEL : 0952-37-0103 (直通) FAX : 0952-52-6549



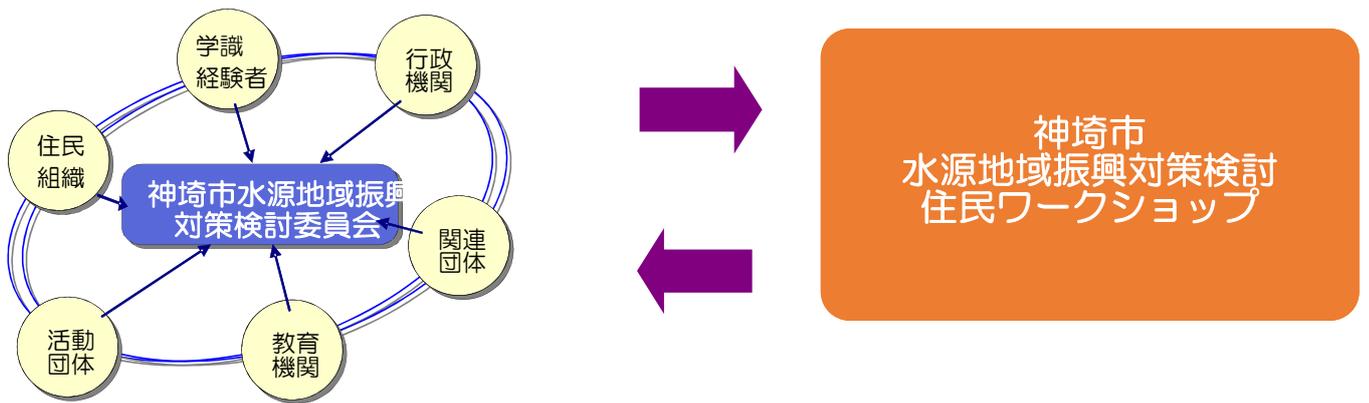
## 神崎市水源地域振興 “計画” と “委員会” について

市民の皆様を水害から守る「城原川ダム」の建設に伴い、その周辺地域の生産機能及び生活環境などが著しい影響を受けることが考えられます。そのため、本市では、これらの影響を緩和し、城原川ダム周辺地域及び上流域の振興を図ることを目的に、「神崎市水源地域振興計画」を策定します。

本計画の策定に際し、行政機関、学識者、住民組織、活動団体、教育機関、関連団体の代表者で組織される「神崎市水源地域振興対策検討委員会」（委員長 五十嵐勉佐賀大学全学教育機構教授）において必要な事項を検討します。

## 神崎市水源地域振興対策検討 “住民ワークショップ” について

神崎市水源地域振興計画の策定において、検討委員会が主催となり、地域住民の皆さんから様々な意見集約を図るために、「神崎市水源地域振興対策検討住民ワークショップ」を開催しています。各回のテーマに即し、住民の皆さんで活発な意見交換を行っていただき、その結果を検討委員会にフィードバック（還元）し、計画を策定していきます。



## 住民ワークショップのスケジュール

### 第1回ワークショップ

令和2年1月24日（金）  
場所：脊振公民館大会議室  
テーマ  
「地域の魅力と課題の整理」

### 第2回ワークショップ

令和2年1月24日（金）  
場所：脊振公民館大会議室  
テーマ  
「地域の将来像の検討」

### 第3回～第5回ワークショップ

開催日時・場所未定  
テーマ（予定）  
「具体的施策、取組の検討」

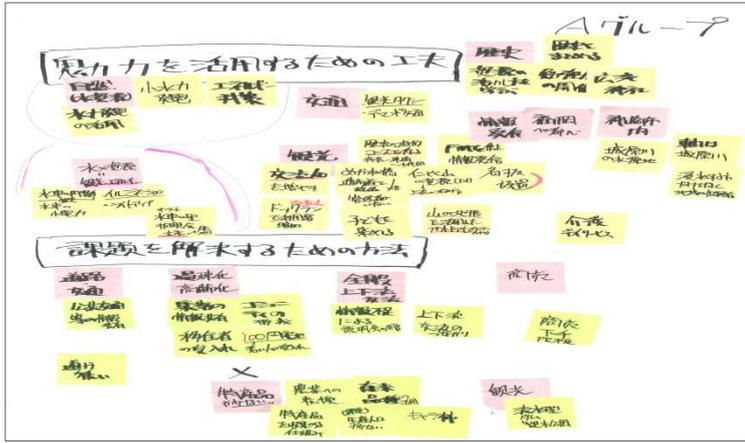
第1回、第2回ワークショップでは、城原川ダム事業概要や住民アンケートの結果などを踏まえ、5班に分かれて、①城原川ダム周辺地域及び上流域の魅力・課題、②地域の現状と課題を踏まえ、魅力的な所にするための工夫や課題の解決方法の大きく2つのテーマについて、意見交換を行いました。

また、魅力的な所にするための工夫や課題の解決方法を踏まえ、目指すべき地域の将来像についての意見交換を行いました。

たくさんの方にご参加いただき、様々なご意見をいただきました！  
各グループ毎の主なご意見は、2ページ以降をご覧ください。



# Aグループ



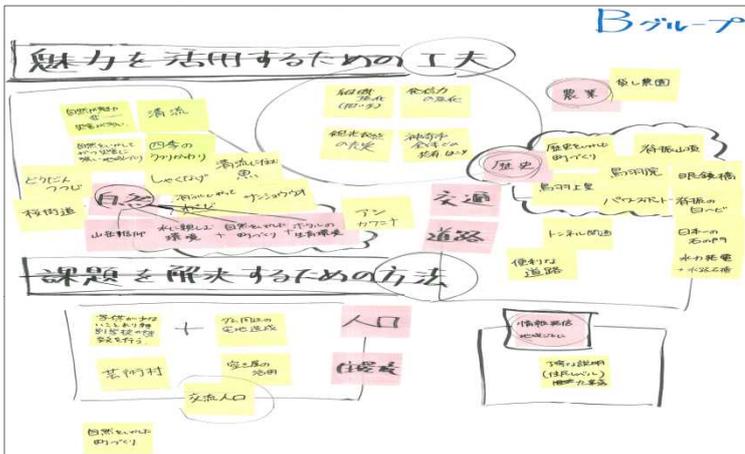
＜目指すべき地域の将来像＞  
水を使った観光交流・循環型地

- ＜地域の魅力を活用するための工夫＞
- ・水力発電の活用
  - ・歴史資源の活かし方を学ぶ勉強会の開催
  - ・道路網を活かした歴史の活かし方のネットワーク対策



- ＜地域の課題を解決するための工夫＞
- ・公共交通等の情報共有
  - ・集落の情報の共有
  - ・コミュニティの形成
  - ・移住者の対策
  - ・情報不足による説明会の開催
  - ・上下流交流のつながり

# Bグループ



＜目指すべき地域の将来像＞

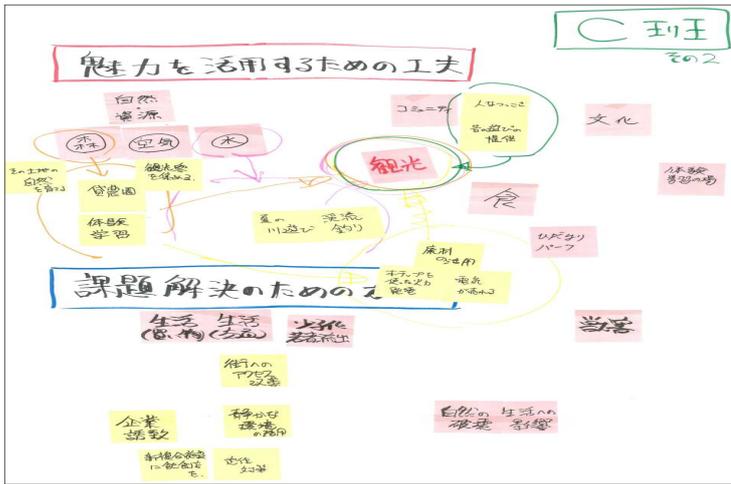
- ・10年後は3世代が暮らせる町
- ・水と共にある町だったらいいな

- ＜地域の魅力を活用するための工夫＞
- ・自然を活かし、かつ災害に強い地域づくり
  - ・トンネル開通、組織強化（担い手）、発信力の強化、観光資源の充実、神崎市全体との共有



- ＜地域の課題を解決するための工夫＞
- ・子供が少ないことにより、特別学校の誘致を行う（脊振の自然の魅力を背景とした特別学校の開設）
  - ・ダム周辺の宅地造成、芸術村
  - ・空き家の活用

# Cグループ



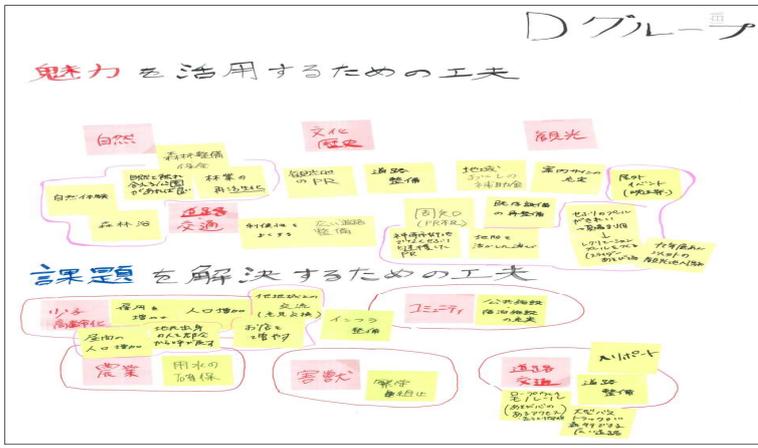
＜目指すべき地域の将来像＞  
自然を活かしたやすらぎのまち

- ＜地域の魅力を活用するための工夫＞
- ・観光客を集める
  - ・貸し農園、体験学習、溪流釣り
  - ・その土地の自然を育てる
  - ・昔遊びの提供
  - ・木チップ材を塚使った火力発電
  - ・廃材の活用
  - ・ひだまりパーク



- ＜地域の課題を解決するための工夫＞
- ・街へのアクセス改善
  - ・若者が住めるように、仕事のある中心市街までのアクセスをよくする必要がある。
  - ・水資源を活用する企業を誘致。
  - ・静かな環境を活かし、都会でなくても働ける仕事（ITなど）の環境整備

# Dグループ



＜目指すべき地域の将来像＞  
・にぎわいのある町

- ＜地域の魅力を活用するための工夫＞
- ・森林の整備と環境保全
  - ・観光地の周知（PR）
  - ・広い道路整備（利便性の向上）
  - ・地域おこし補助金
  - ・案内標識（サイン）の充実
  - ・既存施設の再整備



- ＜課題を解決するための工夫＞
- ・雇用を増やす
  - ・道路整備
  - ・農業用水の確保
  - ・公共施設・宿泊施設の充実
  - ・有害鳥獣の繁栄阻止

# Eグループ



## <地域の将来像>

### <地域の魅力を活用するための工夫>

- ・ダムの上に「夢の架け橋」を整備して観光地とする
  - ・100円宅地を広めて移住者を募る
  - ・木造の音楽ドームの整備
  - ・観光ではなく実用的な施設とし水車による水力発電を行う
- SDGS（持続可能な開発目標）にも関連した取組みになる
- ・市内のアウトドア用品店と提携してキャンプ場を開設する

### <課題を解決するための工夫>

- ・人口減を避けるために集団移転地を地域内に計画する
- ・観光資源としてレトロなバスを運行する
- ・登山鉄道などの観光資源を創造する
- ・周辺地域から人を集める工夫が必要
- ・脊振に来やすいように南北の幹線道路を整備する
- ・市が縦長であるため、周囲からのアクセス道路の整備を行う
- ・高取山にケーブルカーを設置してダムと行き来できるようにする



## 神崎市水源地域振興対策検討委員会 五十嵐委員長のコメント

- ・今回のワークショップでは、今後の検討委員会等で深く考えていけるたくさんのテーマ、アイデアを見出せることができた。
- ・地域の魅力は、守り、磨き、活用していくことが必要であり、また、課題については、少しでも問題を緩和できるように検討を進め、振興計画をまとめたい。

皆様からのたくさんのご意見ありがとうございました。  
令和2年度についても、住民ワークショップを開催する予定です。  
城原川ダム周辺及び上流地域のより良い地域づくりのため、  
今後も皆様のご参加ご意見をお待ちしております!!!

